

共生社会実現の まちを目指して

10月は『共生社会推進月間』です

市は、『共生社会実現のまち』を目指し、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」としています。
共生社会推進月間では、集中的に共生社会に関する取り組み(別表参照)を実施します。
詳しくは、政策創造課(☎2396)へ。

共生社会推進シンボルマーク



市の花アジサイをモチーフに、青やピンク、緑などの色が集まる様子を、多様な人が集まって暮らすイメージに重ねています。

共生社会とは

全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送る社会のこと。さまざまな人が分け隔てなく生活し、人々の能力が発揮されている活力ある社会です。

市は、令和元年10月11日に内閣官房より「共生社会ホストタウン」に登録されました。これを機に、共生社会の実現に向けた取り組みを加速させていきます。

全ての人々が社会の一員として共生社会を築きあげる役割を担い、「自分らしく」、「互いに寄り添い」、「共に生きる」、「共生社会実現のまち」を、市民の皆さんと一緒に目指します。

心のバリアフリーとは

さまざまな体や心の特性を持っている全ての人々が、お互いを分かり合うために話をしたり、支え合うことです。

一人一人が「バリア(障壁)」を「フリーにする(取り除く)」には、自分とは異なる条件を持つ他者とコミュニケーションをとる力を養い、全ての人々が抱える困難や痛みを想像し、共感する力を培い、行動し続けることが大切です。



誰もが楽しめる観光地へ

高齢や障害を理由にあきらめることなく、誰もが気兼ねなく安心して楽しめる「ユニバーサルツーリズム」を推進しています。

ワークショップを開催したほか、伊香保温泉の旅館や石段街周辺のバリアフリー調査を行い、マップの作製を行いました。

また、市内の宿泊施設または日帰り入浴施設を対象に、ユニバーサルツーリズムの推進を目的とした備品の購入費の補助事業も行っています。



マップ作製のための現地調査

バリアフリーマップ

「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言

共生社会実現の推進に向け、市と協力して取り組みを行う団体と共同宣言を行い、取り組みの輪を広げています。

令和3年8月末までに、72団体から賛同いただき、共同宣言に署名を行いました。

共生社会推進月間における主な取り組み

事業名	内容	開催日	所管課
日本のまんがが渋川・市長と語る会	共生社会実現に向け、関係者と意見交換を行う	10月19日(火)	秘書室
共生社会実現に向けたPR動画の制作	共生社会の実現に向けた市の取り組みに関する動画を制作し、市公式YouTubeで配信する	10月1日(金)	
心のバリアフリー啓発パンフレットの配布	市内小学4年生および中学3年生に啓発パンフレットを配布し、授業で活用することで心のバリアフリーを推進する	10月中	
オンライン版「あすチャレ! ジュニアアカデミー」	豊秋小学校において、共生社会実現のために一人一人何ができるか、パラアスリートとのリアルタイムな対話を交えながら理解を深める研修を行う	10月22日(金)	
DE T研修(障害平等研修)	市職員(部課長級および新採用)を対象に、社会にある障害を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動につなげる研修を行う	10月26日(火)	
バリアフリー研修	バリアフリーマップを活用し、マップに対する課題を洗い出すとともに、ユニバーサルツーリズムの可能性について大学生とともに研究する	10月9日(土)	政策創造課
「共生社会実現とユニバーサルツーリズムを考える」シンポジウム	心のバリアフリーやユニバーサルツーリズムの理解とその可能性を考え、誰もがあきらめない社会と共生社会の実現に繋げるシンポジウムを行う	10月6日(水)、7日(木)	
共生社会シンボルマークピンバッジ着用	共生社会実現に向け、職員全体が共通意識をもつためにピンバッジを着用する	推進月間を含む通年	
「共生社会推進月間」懸垂幕の掲示	市役所本庁舎および駅前プラザに懸垂幕を掲示する	10月1日(金)～31日(日)	
みんなの福祉事業所展	市内の福祉事業所の活動内容パネル展示と自主生産品の展示などを行う	10月25日(月)～29日(金)	
出前手話教室	市内小中学校で出前手話教室を開催し、手話の理解および普及を図る	推進月間を含む通年	地域包括ケア課
手話教室	一般市民、観光従事者、医療機関従事者向けの手話教室を開催し、手話の理解および普及を図る		
手話学習動画配信	昨年度制作した手話学習教材の動画を、市公式YouTubeで配信する		
障害者割引適用時のスマホアプリ活用	伊香保ロープウェイおよび伊香保温泉浴場石段の湯において、障害者割引適用時の本人確認方法としてスマートフォンアプリが使える	推進月間を含む通年	観光課
アイマスク・点字・車椅子体験	視覚や肢体に障害がある人の生活の一部を体験し、障害や介護への理解を深める	推進月間を含めて各校の教育課程において実施	学校教育課
高齢者体験	視野が狭くなるゴーグルや重りを着けて行動する体験を通じて、高齢者の生活上の困難さや介護の重要性についての理解を深める		
福祉施設訪問	施設利用者との触れ合いを通じて、福祉サービスを受ける立場と提供する立場の両方の視点から福祉について考える		
人権教育講演会	さまざまな人権問題の現状と問題点を理解し、その解決を図るため、講演会を開催する	10月中	生涯学習課
来館困難者の自宅へ市立図書館所蔵資料を配送	市内在住の障害者・妊婦などで、一人では来館できない人を対象に、市立図書館所蔵資料を職員が無料配送する	10月1日(金)～	市立図書館

令和3年度の新しい取り組み

- ・がん患者医療用ウィッグ・補正具購入助成事業
 - ・共生社会実現に向けた店づくり応援事業
 - ・思いやり入浴普及推進事業
 - ・手話あそび体験事業
 - ・女性目線による地域防災計画の見直し
 - ・手話に翻訳した新型コロナワクチン接種に係る情報提供の動画の配信
 - ・共生社会実現に向けたPR動画の制作
 - ・わけがありますプロジェクトへの賛同(※)
- ※病気や障害などやむを得ない事情によりマスクの着用が困難な人の存在を周知し、理解を促進します



思いやり入浴着

渋川市プロモーション動画

共生社会実現に向けたPR動画。右の2次元コードからアクセスを▶